

家族で楽しむ週末駅前フェス 秋の子どもペDESTリアン共和国を開催！



▲高所作業車試乗体験に子どもたちは大はしゃぎ！

9月28日(土)・29日(日)に、マルイファミリー志木、志木駅東口駅前広場・ペDESTリアンデッキで「家族で楽しむ週末駅前フェス 秋の子どもペDESTリアン共和国」を開催しました。

このイベントは、志木市と株式会社丸井が、市の新たな魅力やにぎわいを創出することを目的とした「包括連携協定締結記念」のキックオフイベントとして開催され、会場はたくさんの人でにぎわいました。



▲絵本の読み聞かせの様子



▲白熱したパルクール鬼ごっこの様子



▲ご当地キャラも登場

まちのできごと

きこえない人の世界を知ろう！



撮影：佐々木一郎さん（市民フォトグラファー）

▲講演会の様子

9月23日(月)、市民ホールで手話言語の国際デー啓発イベント「きこえない人の世界を知ろう！」を開催しました。

参加者は、手話にまつわるクイズや聞こえない人が日常で使う機器を体験した後、来年、日本ではじめて開催されるデフリンピックについて、デフバドミントン選手^{やかべあやか}の矢ヶ部紋可さんの講演を楽しみました。

差別や偏見のない社会の実現に向けて



撮影：赤羽創さん（市民フォトグラファー）

▲ハンセン病について学ぶ参加者たち

9月27日(金)、いろは遊学館で人権研修会「ハンセン病問題をしていませんか」を開催しました。

参加者は、ハンセン病に関する医学的な解説や療養所における生活の様子について学ぶと同時に、差別や偏見のない社会の実現には正しい知識と理解が欠かせないことを再認識しました。

指導者の道への第一歩！



撮影：友部未来さん（市民フォトグラファー）

▲スムーズにカヌーに乗れるようになりました

9月28日(土)、10月6日(日)・12日(土)の3日間、埼玉県カヌー協会主催のもと、県内初となるカヌー指導者講習会をいろは親水公園で開催しました。

経験が浅い参加者が多かったものの、講師からカヌーの乗り方やパドルの漕ぎ方などのテクニックを学び、全員が講習を修了することができました。



ハードで楽しいサバイバルを体験



撮影：藤代真義さん（市民フォトグラファー）

▲薪割りや火起こしなど「はじめて」がたくさん！

10月6日(日)、宗岡第四小学校校庭で「チャレンジサバめしだホイ！」を開催しました。

市内の小学生53人が参加し、空き缶とアルミ箔を活用したサバイバルめし作りに挑戦しました。

薪割りやマッチを使って火起こしなどを行い、炊き込みご飯とホットサンドを完成させ、皆で味わいながら食べました。



市Facebookでも、イベントで撮影した写真を掲載しています！

<https://www.facebook.com/shikicity>



①AppStoreまたはGooglePlayにて「COCOAR2」をインストール
②アプリを起動後、「AR動画」マークがある写真にカメラをかざしてください。

第22回いろはふれあい祭り



撮影：賀城梢さん（市民フォトグラファー）

▲アイロンビーズ作りの様子

10月11日(金)から13日(日)までの3日間、いろは遊学館等複合施設で「第22回いろはふれあい祭り」を開催しました。

体験コーナー・あそびの広場、ステージ発表、作品展示のほか、お花・陶芸作品・飲食物などの販売が行われ、多くの人でにぎわい、笑顔いっぱいのお祭りとなりました。



志木スパイシーフェス2024



撮影：深澤祥紀さん（市民フォトグラファー）

▲今年も盛り上がりました

10月13日(日)・14日(月)の2日間、志木駅東口ペDESTリアンデッキ、マルイファミリー志木周辺で「志木スパイシーフェス2024 SWEETS+~MUSIC×HALLOWEEN~」が開催されました。

今年は、スパイシーと音楽とハロウィンの融合をテーマに、フェスにぴったりの音楽が会場を盛り上げたほか、ハロウィン仕様の特設ステージでは子どもたちがダンスなどを披露しました。

